

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業費	担当課名	教育総務課
総合計画の 主要施策名	個性と創造力をもつ子どもの育成	事業コード	4233

事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により大学、高校の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。			
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で就学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高校 月額15,000円 ・短大、専門、大学 月額40,000円			
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者 (1) 身体強健、品行方正で学業優良な者 (2) 美郷町住民の子弟 (3) 学資金に困難である者			
事業費	年度・区分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
	金額	23,794 千円	25,260 千円	28,419 千円

事業の効果等	募集については、町広報(3月号、4月号の2回)とホームページに掲載し周知した。新規応募者は高校枠1名(定員5名)、大学・短大・専門学校枠が18名(定員25名)。選考後、高校枠1名、大学等枠17名への新規貸与が確定した。償還については、低所得者を対象としている制度であるので馴染まないが、回収率の向上に努めている。			
実績・成果等 (数値)	歳出：H23年度 奨学生貸与者数 55名 25,260,000円 歳入：H23年度未納額 1,125,000円 (収納率95.7% 滞納者17名(うち新規滞納者5名))			

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	A			優れた取組が多く、十分成果が上がっている
判定説明 及び考察	償還については、長引く経済不況の影響のため新たな未納者が5名増加したが、制度の趣旨を説明するとともに、家庭事情等をよく調査し、悪質なものに対しては連帯保証人にも連絡し、収納強化を図りたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	H24貸与者数は(49名) 他の制度との基準に違いは(貸与基準は県育英会と同等)
------	---	--------	---